

令和元年度県内生協訪問見学学習会

生協コープあいちが運営する新城センターの見学を通して、災害発生時の地域の対応基地としての役割や新城市との災害支援協定など、地域防災・減災への取り組みを学習し、参加生協の事業運営に役立たせることを目的として開催いたしました。

◇日時 令和元年8月20日(火)

◇場所 コープあいち新城センター(新城市黒田字草場48番地)



参加者 28名(10生協21名、行政2名、連合会2名、OB会3名)
コープあいち2名、一宮2名、生活クラブ1名、トヨタ2名、かりや愛知中央4名、愛知県職員2名、トヨタ車体1名、愛知県警察職員2名、南医療2名、東海コープ1名
名古屋市民火災共済1名、県民生活課2名、役職員OB会3名、連合会2名

時間	内容	
12:30	受付①	・集合（バス）
14:00	受付②	・現地集合（自家用車）
14:05	施設説明	・新城センター施設概要
14:30	見学会 学習会	・施設見学 ・学習会 コープあいちの防災・減災への取り組み 他
15:10	移動	
15:15	見学	・「やなマルシェ」（JA愛知東店舗跡地）
15:40	移動	
15:45	解散①	・解散（自家用車）
16:05	見学	・道の駅「もつくる新城」
17:45	解散②	・解散（バス）

新城センター概要（本稼働 2019年3月4日）

- ・事業エリア

新城市、北設楽郡設楽町、東栄町、豊根村、豊橋市、豊川市の一部

- ・利用状況

コープ宅配利用組合員数 約9,000名、夕食宅配130名 年間事業高 約20億円

- ・職員体制

66名(ゼネラル職員24名、パート職員20名、Ar職員15名、嘱託職員7名)

◇学習会内容

- ・主催者あいさつ 加藤会長理事
 - ・訪問先生協ごあいさつ 森理事長
 - ・説明、報告 中村センター長
- (1) コープあいちの防災の取り組み
 - (2) 施設概要(約500坪/敷地面積約6,000坪)
 - (3) 設備(B0発電設備、防災用倉庫、太陽光発電、軽油スタンド)
 - (4) 新城市との災害支援協定
 - (5) 防災備品



防災設備、及びコープあいちがすすめる地域防災活動の取り組みについてしっかり学びました。

●施設見学

配送センター



バイオディーゼル発電機



防災用倉庫



雨水貯水タンク



施設見学をしました。災害発生による非常時に備えた設備・備品もしっかり整っていました。

●やなマルシェ(新城センターから車で5分の距離)

地域住民(学生)がボランティアで営む集いの場(JA店舗跡地)
月曜日と土曜日に営業(地元産品、うどん、コーヒーなど)



手作りPOP

これからも会員生協の情報交換・交流推進を積極的にすすめてまいります。



地元中学校の総合学習